

カーボンニュートラルの実現に向けて大きく躍進！ 国内最大級のオフサイト自己託送太陽光発電所建設を受注

エネテックがEPCを担当

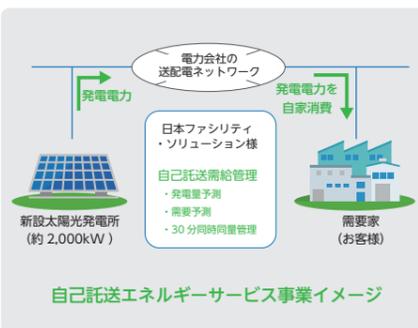
エネテックは、日本ファシリティ・ソリューション株式会社様(東京電力エナジーパートナー株式会社の100%子会社)が提供する国内最大級のオフサイト自己託送エネルギーサービス(※1)に対応した太陽光発電所のEPC(設計・調達・建設)を請負う契約を締結いたしました。

この発電所は、東京電力エナジーパートナー株式会社様および日本ファシリティ・ソリューション株式会社様が発電用地選定、用地開発、発電所建設までワンストップで担うもので、出力は約2,000kW。稼働後の保安や点検、メンテナンスも弊社で請負う予定です。

また、この発電所は固定価格買取制度(FIT)を適用しない非FITの太陽光発電所(※2)で、自己託送と呼ばれる仕組みを生かしたものです。

カーボンニュートラルの実現に向けて

脱炭素の推進、再生可能エネルギーのさらなる普及において非FIT太陽光発電所の必要性は高まっており、エネテックはEPCとして、またソラパトを通じて培ってきたノウハウを活かし、非FIT太陽光発電所の拡大および安定稼働を通じて、カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでまいります。



※1 自己託送エネルギーサービス事業

自家発電設備設置者が、当該自家発電設備を用いて発電した電気を、一般送配電事業者が維持および運用する送配電ネットワークを介して、別の場所にある需要場所に送電することを可能とする制度を利用した、東京電力エナジーパートナー株式会社、日本ファシリティ・ソリューション株式会社が提供するエネルギーサービス。

※2 非FITの太陽光発電所

固定価格買取制度(FIT制度)の認定を必要としない発電所のこと。FIT制度は再生可能エネルギーの普及拡大を大きく推進してきたが、その買取価格も大きく下がっており、また買取価格の一部を国民が負担する「再エネ賦課金」など様々な課題もある。脱炭素社会の実現に向けて、非FITの太陽光発電は再生可能エネルギー利用促進の推進力として期待とニーズが高まっている。

エネテックグループのCloud9Marketが ベーグル&ベーグルサンドの専門店をOPEN

人気カフェ「CROCE」を運営するエネテックグループのCloud9Marketが、ベーグル専門店「matine BAGEL by CROCE」を4月22日に愛知県豊田市にオープンします。

カフェでも連日完売となる人気のベーグルですが、今回の新規出店に向け新たなメニューも加え、約30種類のベーグルとベーグルサンドをご用意しました。

あまおうを使用したスイーツ系からゴーヤチャムブルー風の総菜系のベーグルまで幅広いバリエーション。どれも見た目、味、ボリュームともに満足いただけると思います。

この豊田店を1号店として全国に拡大予定ですのでご期待ください！



2022年4月22日(金) OPEN!

matineBAGEL (マチネベーグル)
愛知県豊田市西町6丁目85-1 T-FACE A館2階 (三越豊田)
<https://matinebagel.com/>

先進技術の、その先へ。
ENETECH
株式会社 エネテック

- 【本社】愛知県小牧市間々27-1
- 【中部支店】名古屋市中区丸の内3丁目17-4 第11KTビル9F
- 【関東支店】さいたま市大宮区三橋3丁目162
- 【関西支店】兵庫県西宮市松原町4-1 西宮ステーションビル3F
- 【金沢営業所】石川県金沢市大野3丁目136 緑樹II 3号室
- 【福岡営業所】福岡県福岡市西区豊津2-11-16 2F
- 【群馬サービスステーション】群馬県藤岡市藤岡935 レジデンスセシム3F
- 【仙台サービスステーション】宮城県仙台市太白区鉤取2丁目25-1
- 【伊勢サービスステーション】三重県伊勢市藤里町345-3 A棟101号
- 【京都サービスステーション】京都府京都市中京区柳水町84番地 三洋六角ビル505

【お問い合わせ】
0120-920-137
info@enotech.co.jp

ENETECH TIMES [エネテックタイムズ]

2022年
vol.28
4月号

CONTENTS

- ソラパト点検実績、1.3G(ギガ)に!
- 最近気になる太陽光発電のこと〜パネル洗浄・ケーブル盗難
- 国内最大級のオフサイト自己託送太陽光発電所建設を受注
- Cloud9MarketがmatineBAGELをOPEN

どんな不具合も見逃さない! ソラパト魂

ソラパト点検実績発電量は約1.3ギガ

『点検の実績は何メガですか?』とお客から聞かれることも少なくありません。先日出版させていただきました脱炭素経営EXPOに合わせて、ソラパトの実績を集計いたしましたのでお知らせいたします。

- 点検件数: 2,990件
- 点検発電量: 1,289MW

昨年は1G(ギガ)を超えたとご報告させていただきましたが、この1年でさらに約700件、約300MWの新たな発電設備を点検させていただいたということです。

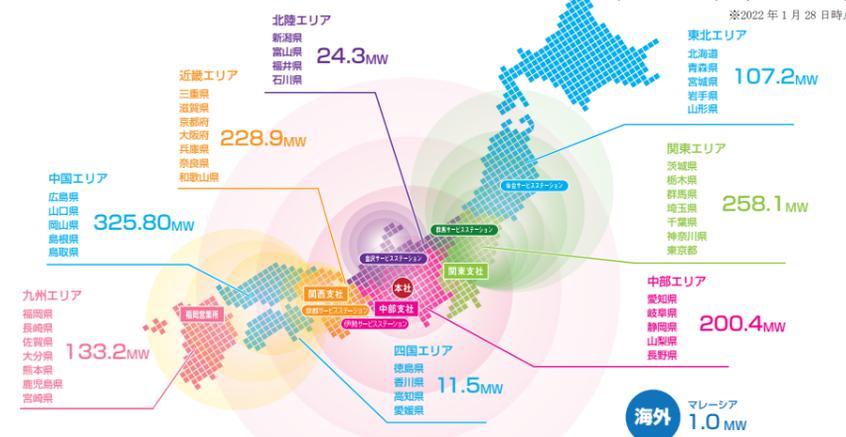
重要なのは数字よりもノウハウの獲得

この実績は日々全国で活躍しているソラパトスタッフの努力の賜物に他なりません。合計の数字よりも、個々の点検で得たノウハウが私たちの財産です。以前からのお客様、また新規のお客様でも年間複数回の点検を行っており、その合計は昨年1年間で2,100件以上。その1つ1つがソラパトの技術レベルを、そしてお客様へのサービス品質を高めています。

「ソラパト魂」として連載しているこのコーナーで紹介しているような「通常では見逃しがちな異常や不具合に気付く」ことができたのは、ノウハウの蓄積や経験を通してのスタッフの成長があってこそなのです。



全国に広がるソラパトネットワーク 太陽光発電所点検実績



進化、そして評価が高まるソラパト

ソラパトでは昨年よりドローンによるサーモグラフィ点検を標準メニューに加え、そして今後も新しい検査機器の導入をはじめ最新の技術動向にもアンテナを伸ばし、一層のサービス品質向上に努めてまいります。また、こうしたO&Mの現場で得られたノウハウはエネテックの太陽光発電設備の設計にも生かされており、不具合が発生しにくい、メンテナンス性の高い発電所を施工していきます。



ソラパトの点検、不具合事例は「日経メガソーラー」や「新電気」に連載で紹介され、また自治体や各種団体でセミナー講師などを依頼される機会も増えてきました。さら

に今年は電気系の専門学校での講義も予定しています。これらはソラパトの実績や技術への評価の表れではないでしょうか。

発電設備の「?」はソラパトにご相談ください

私たちソラパトスタッフは「どんな不具合も見逃さない」という気持ちで、お客様の発電設備を点検、メンテナンスさせていただきます。発電所で気になることがございましたら、お気軽にソラパトにご相談ください。

ソラパトブログ
で最新情報
発信中!



ソラパトスタッフが、日々の活動や不具合事例など、生の情報をご紹介します。
<https://solarpat.com>

Solarpat NOW

最近気になる太陽光発電所のこと

パネル洗浄・ケーブル盗難

発電量が増えるこれからの季節、パネル洗浄をすべきか気になる事業者様は少なくないと思います。また、最近ニュースでもよく見るケーブル盗難。今回はエネテックが講演会で発表した中から2つのレポートをご紹介します。

J-PITAの交流会で講演しました!

2022年3月29日、TRC東京流通センターにて一般社団法人日本太陽光発電検査技術協会(J-PITA)主催の2022東京商材交流会が開催されました。



その会場で『最新の太陽光メンテナンス事例』として、これまで弊社が実施してきた点検時に遭遇したトラブルや不具合事例などを紹介させていただきました。聴講いただいた方々の反響もよく、講演後の懇親会では様々な方と意見交換を行うことができ、大変良い機会となりました。そこで今回はその交流会で紹介した中から2つのレポートを皆様にも共有させていただきます。

REPORT1 発電効率大幅UP! パネル洗浄の事例紹介

パネル洗浄は必要なの?と気になっている皆様のために、洗浄により発電量が大幅に改善された事例をご紹介します。

きっかけは発電量の低下から

食品製造工場の屋根上に自家消費型太陽光を設置されているお客様。設置して1年あまりなのに、発電量が半分くらいになっていると感じたため、原因を調べた

いと弊社に依頼がありました。そこで現地にかがいが屋根に上がったところ、パネルがかなり汚れていることがわかりました。



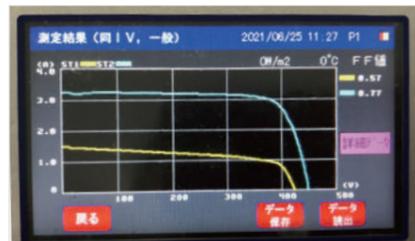
発電量低下の原因はおそらくこの汚れだと推測されたので、洗浄を行うわけですが、その効果実証のため、I-Vカーブ測定も行うことにしました。

洗浄のビフォー/アフターを比較

洗浄効果を実証するため、まずは洗浄前のデータを測定しました。



上の画像は2つの回路の測定結果ですが、どちらも乱れています。



そして、1回路のみ洗浄して比較したものがこの画像です。黄色が未洗浄、水色が洗浄を実施したパネルの回路です。

I-Vカーブが電流・電圧・FF値全てで上昇しています。



洗浄未実施回路(ST1)の発電量370.9Wに対し洗浄実施回路(ST2)の発電量が1,136.8Wとなり765.9W(約33%)上昇したことが分かります。

この結果により、発電量の低下はパネルの汚れが原因であったことが判明し、お客様も30%以上の発電量UPとなるなら費用対効果も十分とご満足いただきました。

パネル洗浄は必要なのか?

パネルの汚れの原因として、花粉、黄砂、砂埃、土砂、鳥のフン、落ち葉、水垢、ゴミ、火山灰などが主なものとして挙げられます。

太陽光パネルの傾斜角度がある程度あれば、雨で埃や砂塵、花粉などが流れ落ちるのですが、それでも鳥のフンなど落ちにくく、モジュール表面の変質を起こすものもありますし、雨で流れ落ちると言っても、徐々に汚れが蓄積していく場合もあります。

今回のように屋根置きの場合は傾斜が無く汚れやすいと言えますし、近くにダクトがあるなど設置環境によって汚れの程度も変わります。少なくとも目視で汚れが確認できるような場合は洗浄をおすすめします。

モジュール洗浄はプロに頼むべき?

モジュール洗浄は自分でやる!という方もいらっしゃると思いますが、いくつか注意事項があります。

- 危険な作業は避ける
- モジュールを傷つけないように
- 水道水をそのまま使用しない

安全性や期待通りの発電量の改善を考えると、専門の業者=プロに依頼することをお勧めします。洗浄の頻度に関しては、お客様の環境にもよりますので、定期点検などの際にメンテナンス業者に相談してみてもいいかもしれません。

REPORT2 最近、増えてます ケーブル盗難被害事例

ニュースでも目にする機会が増えているのが「太陽光発電所のケーブル盗難」です。その事例をご紹介します。

遠隔監視で異常を検知

弊社が管理している関東エリアの高圧発電所の事例です。



遠隔監視を行っているソーパト監視センターで、ある朝、4台のパワコンの内3台が発電していないことが確認されました。周辺の停電情報もないため、駆付け対応を実施することになりました。

ケーブルの切断・盗難が原因

現地の様子を見ると、明らかな異常が...



フェンスが壊されており、発電所内の至る所でケーブルラックの蓋が開けられ、ケーブルが切断、持ち去られていたのです。

REPORT2 ケーブル盗難



警察による現場検証の様子

被害額は3,000万円以上!

現場で撮影した画像からもその酷い手口が見て取れます。



ラック内が空っぽになっています。



切り口を見ると電動工具でスパッと切断されていることが分かります。

主幹ケーブルが集中している場所を認識しているなど、発電設備に詳しいプロの作業では?と思われるます。

お客様にご了承いただき、警察に通報し盗難被害の届出を行いました。

今回の被害は材料だけで2,000万円以上で、工事を合わせると3,000万円、また復旧までの期間の売電収入が無いことを加味すると被害額はかなりの金額になります。

このお客様が動産保険、売電保障に入られていたことは幸いでした。

被害に遭う前にセキュリティ対策を

この事例だけでなく、昨年、弊社では5か所のメガソーラー盗難復旧工事を請け負っていますし、低圧の被害も合わせると15カ所以上になります。

今回のように遠隔監視で被害に気付くことはできませんが、それは被害後のこと。ケーブルを切断されるだけでも多大な損失となるため、事前のセキュリティ強化が必須と言えます。

対策としては、監視カメラの増設、赤外線センサー、ケーブルラックカバーなどが挙げられます。ソーパトではその他に新たな対策も検討、実施を始めていますが、それらの情報は公開しない方針にしています。なぜなら、プロと思われる犯罪者たちに知られたくないからです。

発電所のセキュリティ対策もぜひソーパトにご相談ください。

日経メガソーラーにトラブル事例を連載中です!



メガソーラー市場の健全な成長と業界の発展を応援するWEBサイト日経メガソーラービジネスにエネテックの取材記事が連載されています。現在、連載は89回。太陽光発電設備の不具合事例を中心に紹介し、常にランキング上位となっています。



電気・太陽光のプロが査定するあんしん

査定、売買もソーパトにお任せください!

- O&Mのプロだからできる高値査定
- 信頼査定で売却もスムーズ
- 故障した発電所も高値査定

☎0120-920-137 <https://solarpat.com> ソラパト 検索

発電所や遊休地の売却もエネテックへ

条件次第では売却・転売を検討したいという方も、お気軽にお問い合わせください。